

科目	レクリエーション基礎実習Ⅱ	担当	長澤 省吾	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	1単位

**【授業目標・到達目標】**

生涯スポーツの目指すところは、「誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる社会」を実現することにある。ここでは、単に勝敗を競うスポーツだけでなく、本来の遊びを基本とした楽しいスポーツ経験が求められる。この授業では、より広い領域のレクリエーション・スポーツを楽しみながら学習する事を目的とする。

**【履修注意】**

原則として、欠席回数(含公欠)は3回までとする(遅刻・早退・見学は0.5回とみなす)。

授業クラスでの調和をより高く意識しながら、授業に参加すること。

スキー実習を行う(2月初旬予定)。費用は実費となる(3万5千円～4万円程度)。

通常の実技とスキー実習とで単位を認定する。

**【評価方法】**

積極的な授業参加とレクリエーションを通じての『和』を実践できているかを総合評価する。

スキー実習においてレベルに応じた実技試験を行い、目標達成度により評価する。

**【試験について】**

実技試験

再試験対象者の条件：再試験は実施しない。

**【予習・復習】**

学修時間は1単位45分が文部科学省指針である。本科目は1単位科目なので90分の講義に対して45分以上の自宅学習(予習、復習)が必要である。

**【教科書】**

資料を配布する。

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	レクリエーションの指導的側面の習得について
2	レクリエーションの指導法	レクリエーション指導者としての心構えと注意点
3	レクリエーション・スポーツⅠ	主に屋内で行われる種目について
4	レクリエーション・スポーツⅡ	主に屋外で行われる種目について
5	ニュースポーツⅠ	屋内のニュースポーツの実際と注意点
6	ニュースポーツⅡ	屋外のニュースポーツの実際と注意点
7	ゴルフⅠ	ゴルフの導入
8	ゴルフⅡ	ハーフスイングの習得
9	ゴルフⅢ	ハーフスイングからフルスイングへ
10	ゴルフⅣ	フルスイングの習得
11	ゴルフⅤ	スイングの習得
12	ゴルフⅥ	アプローチショット
13	ゴルフⅦ	ミニコース
14	野外スポーツの実際Ⅰ	スキーの技術レベルの向上を目指した実習Ⅰ
15	野外スポーツの実際Ⅱ	スキーの技術レベルの向上を目指した実習Ⅱ
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ